

DATA

■ 研究分野

基礎薬科学（有機化学・薬用資源学、物理・分析化学、生命科学、衛生・環境学、薬理学、薬剤学）、応用薬科学、臨床薬科学

■ 授業科目（参考：2010年度）

	科目	単位	履修要件		開講形式		
			一般	社会人	昼間	夜間	
指導研究	研究指導 A	-	必	/	○		
	研究指導 B	-	/	必		○	
成論文研究	薬科学論文作成実験 I	6	必・教	/	○		
	薬科学論文作成実験 II	6	必・教	/	○		
	実践薬科学課題研究	4	/	必		○	
演習	薬科学特別演習 I	2	必・教	/	○		
	薬科学特別演習 II	2	必・教	/	○		
	実践薬科学演習 I	2	/	必		○	
	実践薬科学演習 II	2	/	必		○	
実習	実践薬科学特別実習 I	1	/	必		○	
	実践薬科学特別実習 II	1	/	必		○	
講	（基礎薬科学分野）						
	有機化学特論	2	選・教	選	○		
	有機合成化学特論	2	選・教	選	○		
	薬用資源学特論	2	選	選	○		
	物理化学特論	2	選・教	選	○		
	分析化学特論	2	選・教	選	○		
	生化学特論	2	選・教	選	○		
	細胞生物学特論	2	選・教	選	○		
	ゲノム機能学特論	2	選・教	選	○		
	衛生・環境学特論	2	選・教	選	○		
	薬理学特論	2	選	選	○		
	薬剤学特論	2	選	選	○		
	義	（応用薬科学分野）					
		医薬品開発学特論	2	選	選	○	○
薬物動態・相互作用学特論		2	選	選	○	○	
医薬品薬効・安全性評価学特論		2	選	選	○	○	
医薬品情報・評価学特論		2	選	選	○	○	
治験・CRC特論		1	選	選	○	○	
臨床統計解析学特論		1	選	選	○	○	
遺伝子診断・個別化医療学特論		1	選	選	○	○	
化学療法学特論		1	選	選	○	○	
漢方・中薬療法特論		1	選	選	○	○	
サプリメント・栄養化学特論		2	選	選	○	○	
一般用医薬品概論		1	選	選	○	○	
ジェネリック医薬品概論		1	選	選	○	○	

	科目	単位	履修要件		開講形式	
			一般	社会人	昼間	夜間
講義	（臨床薬科学分野）					
	臨床医学特論 I	2	選	選		○
	臨床医学特論 II	2	選	選		○
	薬物治療学特論 I	2	選	選		○
	薬物治療学特論 II	2	選	選		○
	病態生理学特論	2	選	選		○
	医療倫理学特論	1	選	選		○
	臨床処方学	1	選	選		○
	臨床栄養学特論	1	選	選		○
	臨床検査学特論	1	選	選		○
	T D M 概論	1	選	選		○
	病院薬局管理学	1	選	選		○
	看護学概論	1	選	選		○
	臨床コミュニケーション概論	1	選	選		○
	医療経済学概論	1	選	選		○
	医療薬事行政論	1	選	選		○
	医療英語演習	1	選	選		○
保険薬局経営学	1	選	選		○	

■ 履修方法と修了要件（2010年度）

- 一般学生は下記の3条件をすべて満たすこと。
 - ① 2年以上在学する。
 - ② 薬科学論文作成実験 I、II（12単位）、薬科学特別演習 I、II（4単位）と講義科目14単位以上の合計30単位以上を修得する。
 - ③ 研究指導Aを受けて、修士論文の審査および最終試験に合格する。
（中高理科教員専修免許状を得ようとする者は、教科専門科目を24単位以上修得すること）
- 社会人特別選抜による学生は下記の3条件をすべて満たすこと。
 - ① 2年以上在学する。
 - ② 実践薬科学課題研究（4単位）、実践薬科学演習 I、II（4単位）、実践薬科学特別実習 I、II（2単位）と講義科目20単位以上の合計30単位以上を修得する。
 - ③ 研究指導Bを受けて、課題研究報告書の審査および最終試験に合格する。

■ 学位授与

上記の修了条件を満たした者に「修士（薬科学）」の学位を授与する。